

SUKUMO CITY 2022





もくじ

市長の言葉..... 3

まちづくり..... 4

産業振興／観光振興／防災対策..... 5

人口減少対策／子育て支援／高齢化社会対策..... 6

文化芸術とスポーツ振興..... 7

地域資源..... 8

自然..... 8

四国遍路／祭り..... 9

歴史・文化財..... 10

産業..... 12

特産品..... 14

振興計画..... 16

基本情報..... 18

市章／沿革／市民憲章／名誉市民..... 18

地勢／シンボル／マスコットキャラクター..... 19

市のあゆみ..... 20

議会..... 22

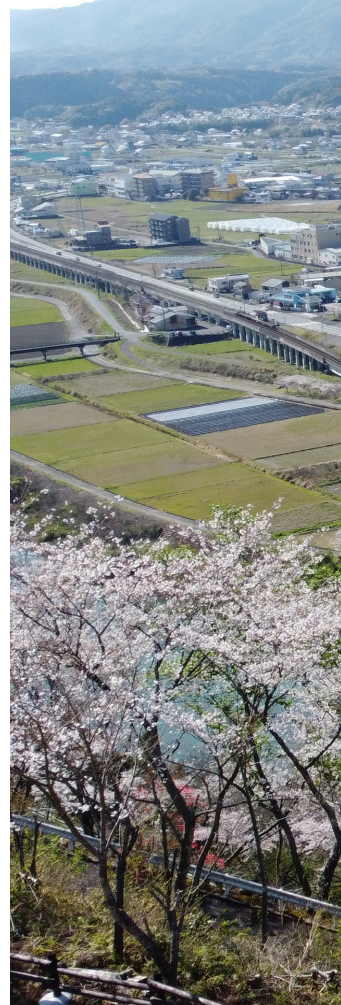
資料編..... 23

自然・地図／人口..... 24

産業構造..... 25

農林業..... 26

水産業／事業所..... 27



市勢要覧 発刊にあたって

宿毛市は、四国の西南端に位置し、全国に先駆けて桜前線が上陸する温暖な気候と海・山・川といった豊かな自然に恵まれたまちです。

魚のゆりかごといわれるほど魚種が豊富な宿毛湾の魚の味は絶品であり、ブリ、タイを中心とした養殖業が盛んです。また、84%の森林率を誇る豊かな森林資源を活用した自伐型林業をはじめとする林業振興はもとより、農業ではオクラやイチゴなどが盛んに栽培され、文旦や小夏、直七といった柑橘類は、宿毛市の特産品として全国へ発信されています。さらに、歴史や文化においても明治以降の日本に多大な影響を与えてきた偉人を多く輩出したまちでもあります。

宿毛市では、「宿毛市自転車を活用したまちづくり計画」に基づき、スポーツ活性化に向けた取り組みやサイクルイベントによる観光、スポーツ振興、教育文化向上に努めています。また、「宿毛市2040ゼロカーボンシティ宣言」のもと、脱炭素化の取り組みを推進しています。

これからは、適正な規模の地域経済・地域社会を目指し、自然とのつながりを大切にしながら、住みやすさを実感でき、また、南海トラフ地震など、自然の脅威をみんなで乗り越えていく「地域力」あふれるまち宿毛を目指して参ります。

この要覧は、市政の現状と展望を紹介させていただいているもので、本市への理解を一層深めていただく一助となれば幸いです。

宿毛市長 中平 富宏

教育／福祉／保健	28
財政	29
宿毛大使／議会／行政	30
行政機構図	31

まちづくり

宿毛市の重点施策を「7つの理念」に集約し、「地域力」あふれるまちづくりに取り組んでいます。



スポーツ振興
文化芸術と

高齢化社会対策

子育て支援

人口減少対策

防災対策

観光振興

産業振興

産業振興

米国やヨーロッパなどの海外輸出にも対応可能な衛生基準を満たした水産加工施設が整備されたことに伴い、今後、宿毛湾産の魚のさらなるブランド化を通じて水産業の底上げや地域活性化に繋がること期待されます。

また、漁業者の所得向上や活力ある漁村づくりを図るため、水産物の安定供給や高付加価値化を目指し、「すくも湾中央市場」のさらなる機能強化や加工品製造施設の拡充、後継者育成などを促進します。



宿毛の魚を世界へ

2年間の研修を受けた後は、市内で農家として独立就農できるよう農地やハウスの取得などの情報提供も行っています。



農業後継者の確保・育成を図るため、農業研修機関として、JA高知県と共同で「一般社団法人スタートアグリカルチャーすくも」を運営しています。こちらでは、イチゴの栽培を中心としたカリキュラムに基づき、安心して農業研修が受けられるような環境を整え、市内外から農業研修生を受け入れています。

基幹産業の底上げで、新たな雇用を

農業後継者の確保・育成を図るため、農業研修機関として、JA高知県と共同で「一般社団法人スタートアグリカルチャーすくも」を運営しています。こちらでは、イチゴの栽培を中心としたカリキュラムに基づき、安心して農業研修が受けられるような環境を整え、市内外から農業研修生を受け入れています。

観光振興

令和2年3月に完成した横瀬川ダムの壁面に、日本初となるクライミング施設を設置しました。高さ約72mのダム壁面に、地上から高さ約63mの場所からスタートする、全長8m程度のクライミングコースを2コース整備しました。

このほか、釣りやダイビングなどのマリレジャー、ロードバイクや電動アシスト付マウンテンバイクのレンタサイクルなど、アクティビティを楽しんでいただく、自然・体験型観光の取り組みを推進しています。



日本初 ダム壁面を活用 「横瀬川ダム クライミングウォール」

産業振興の場とする等、地域経済の活性化を図っています。また、レンタル利用が可能な本館和室では、様々なイベントが行われ「まちづくり」の中心となっており、住民交流の場として活用されています。



3代にわたって大臣を輩出した近代日本の発展をリードした「林家」が所有していた歴史的価値のある邸宅を最新の建築技術を駆使して改修した「宿毛まちのえき 林邸」は、宿毛歴史館と連携した「歴史観光」の推進や、特産品を活用した産業振興の場とする等、地域経済の活性化を図っています。

観光・交流拠点としての 「宿毛まちのえき 林邸」

防災対策

災害復旧・復興の司令塔であり、災害対応業務の指揮を行う市役所庁舎を、津波の被害を受けない高台に移転しました。また、避難の実効性の向上のため、津波避難タワーを整備し、津波浸水想定区域にある公共施設で可能なものは高台移転に向けて検討・実施をするなど災害に強いまちづくりに取り組んでいます。

あわせて、大災害が発生する前から、まちの将来像を検討し、被災後のまちの復興イメージを示すことができるよう計画していきます。

なお、令和3年度に都市計画決定された、四国横断自動車道「宿毛内海道路」は、高台の庁舎北側を通過して宿毛新港へと連絡するルートであり、災害発生時における外部とのアクセス道として大きな役割を果たすことが期待されます。

災害に強いまちづくりへ



大規模災害時において、大きな力を発揮する「自助」や「共助」の意識醸成や活動への助成に取組み、「公助」としての対策についても国、県と連携しながら取り組んでいます。

特に、南海トラフ地震発生直後の「命を守る」対策、応急期の「命をつなぐ」対策、復旧・復興期における「生活を立ち上げる」対策は、短期的・中長期的な視点のものと積極的に取り組んでいます。

命を守る・命をつなぐ

人口減少対策

移住へ向けた支援やきっかけづくり

移住希望者が本市に魅力を感じ、多くの移住が実現するよう、ポータルサイトや移住フェアでの情報発信、移住相談員等によるきめ細かな移住相談、お試し暮らし滞在など移住へ向けた支援に取り組んでいます。

仕事面では、高知西南中核工業団地や宿毛湾港工業流通団地の製造業のほか、事務系企業など幅広い分野の企業誘致に取り組み、さらなる雇用の場の確保や地元企業と高校との連携、若年層の市外流出防止・人材確保対策に取り組んでいます。

また、豊かな自然を生かした観光やスポーツ、宿毛市の暮らしを体験するツアーなどを通じた「交流人口」「関係人口」を拡大し、将来的な移住にもつながるきっかけづくりに取り組んでいます。



子育て支援

未来を担う子どもたちの成長を 全面サポート

子どもたちは本市の宝物であり、健やかに未来に羽ばたけるよう、その育ちを社会全体で支えるため、「宿毛市子ども・子育て支援事業計画」に基づいて、地域の特性や、複雑・多様化するニーズに沿った、子どもを産み育てやすい環境づくり、質の高い子ども・子育て支援事業の推進に努めています。

そのため、「子育て世代包括支援センター」や「子ども家庭総合支援拠点」、「地域子育て支援センター」を中心に、保育園や学校など関係機関の連携をより強化して、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援の充実に取り組んでいます。



高齢化社会対策

健康で生きがいをもって安心して 暮らせるまちづくり

高齢者が健康で自立した生活が送れるよう介護予防に努めるとともに、介護が必要となってもそれぞれの地域において医療や介護、生活支援などのケア体制を連携させる地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいきます。

「あったかふれあいセンター事業」において、集いの場を提供するほか、各地域において交流を深める取り組みとして、調理や食事を通じて集いの活動を行う「地域元気クラブ」や、介護予防を目的とした「いきいき百歳体操」を行う自主グループを支援しています。また、毎年多くの生徒が学びに訪れる「生きがい大学さくら学園」を開催し、高齢者の生きがいづくりの場を提供します。

生活支援は、シルバー人材センターによる日常生活支援総合事業「訪問型サービスA」の実施により、生活の支援を行っていくとともに、宿毛市が平成6年より実施している配食サービス、「食の自立支援事業」においてお弁当の配達を行うなど、地域で安心して暮らしていける体制づくりに努めています。



文化芸術とスポーツ振興



生涯スポーツの振興と交流人口の拡大

生きがいと潤いのある人生を過ごすことができるよう、「宿毛文教センター」を拠点として、地域の皆様が気軽に集える機会を提供し、いつでも、どこでも、誰でもが、自発的に学習できる機会を充実させることによって、地域全体の教育力の向上を図るとともに、一人ひとりの人権が尊重され、子どもたちが健やかに育つ豊かで文化的な地域社会づくりに取り組んでいます。

また、市民の健康増進や体力づくりを図ることで、より充実した生活を送ることができるよう、各種スポーツ団体等と協力し、「宿毛市総合運動公園」を拠点として、競技力の向上等を含んだ生涯スポーツの振興に努めるとともに、スポーツ合宿やスポーツ大会を積極的に誘致することで、スポーツを通じた交流人口の拡大に取り組んでいます。



自転車を活用したまちづくり計画

自転車を活用したまちづくり計画

宿毛市は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたオランダのホストタウンとして登録し、宿毛市のスポーツ活性化に向けて、サイクルイベントによるスポーツの振興、教育文化の向上などに努め、オリンピック・レガシーの創出を目指しています。その中で、自転車競技の盛んな同国の女子自転車代表チームの受け入れや、代表選手らとの交流イベントを実施するなど、かねてより自転車やサイクルスポーツの可能性に着目してきました。

平成31年3月に策定した「宿毛市自転車を活用したまちづくり計画」に基づき、子どもから高齢者までが自転車に触れる機会を増やし、自転車やサイクルスポーツを市民にとって身近なものにしていくとともに、ルール・マナーの徹底や将来的な市民の生活の質の向上を図っていきます。観光客等にとっても、自転車を切り口とした地域の魅力を向上させていくための環境構築を進め、自転車を活用した地域の活性化を推進していきます。

宿毛市2040ゼロカーボンシティ宣言

令和3年4月6日、宿毛市は2050年までの国の脱炭素化目標年度を10年間短縮し、2040年までに市内の二酸化炭素実質排出量ゼロを目指す「宿毛市2040ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

この宣言の背景としては、近年、地球温暖化が原因とされる異常気象により、巨大な台風や記録的な集中豪雨が日本各地において頻発化・激甚化していることがあります。本市においても、平成30年7月の豪雨において記録的な大雨により市内各所に甚大な被害が発生し、市民の生命や財産が脅かされました。

このため、地球温暖化の進行による異常気象が、住民の生命や財産の危機、そして自然環境や生態系への悪影響など、人類の生存基盤を根本から揺るがす極めて深刻な事態となっているという認識のもと、地球温暖化対策に早急かつ真摯に取り組む、本市の豊かな自然や生態系を次の代につなげていかなければならないと考え、脱炭素化の目標を10年前倒しした「宿毛市2040ゼロカーボンシティ宣言」に至ったものです。

本市ではこの宣言のもと、2040年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指し、脱炭素化を推進していきます。



地域資源

自然

かんようとう
咸陽島公園



咸陽島は数少ない陸繋島の一つで、潮がよく引く時には歩いて渡ることができます。春は桜の花見、夏は海水浴、冬はだるま夕日鑑賞を楽しむ憩いの場です。園内にはビーチバレーなどが楽しめる広い砂場や遊具が設置されている緑地スペースが整備されており、トイレや更衣室、コインシャワー、流し台を設置しています。

いでいおうけつ
出井甌穴



松田川上流、県境近くの出井溪谷に渦巻く急流が作り上げた天然の彫刻。幅40m、長さ200mの岩床に大小200あまりある甌穴群です。これほど数の多い所は日本中でも珍しく、「高知県天然記念物」に指定されています。

うぐるしま
沖の島・鵜来島



足摺宇和海国立公園の指定を受けた高知県唯一の有人離島です。島の宝100景に選ばれた「集落の石段、石垣」や黒潮が作った大自然の芸術「七ツ洞」、四国百名山に選ばれた「妹背山」など、島独特の文化や暮らし、自然が息づいています。また、周囲には透明度抜群の海が広がっており、磯釣りやマリンスポーツのパラダイスでもあります。

だるま夕日



宿毛湾の冬の風物詩。11月中旬から2月中旬にかけての期間中わずか20回程度しか観ることができません。しかも綺麗なだるまになるのはそのうちの10回程度しか観ることができないことから幸運の夕日と言われており、日本の夕陽百選にも選ばれています。すくもサニーサイドパークや咸陽島公園が鑑賞スポットとして人気です。



四国遍路

四国霊場三十九番札所

延光寺



高知県（修行の道場）での最後の札所。神亀元年（724年）に行基が開基し、延暦14年（795年）に弘法大師が再興し第三十九番札所として定められました。境内には、弘法大師が湧き出させたという「眼洗い井戸」があります。

また、この寺には延喜11年（911年）のものである銅鐘が残っています。この鐘は、赤亀が鐘を背負い寺山に這い上がって来たといわれていて、これにちなんで山号が赤亀山になったという伝承が残っています。高知県最古の銅鐘といわれ、国の重要文化財に指定されています。

祭り

市民祭宿毛まつり



毎年10月（スポーツの日の前日の土・日曜日）に行われる市民祭。メインは舞踊パレードと秋の夜空に打ち上がる花火大会です。その他に子どもみこし、各種スポーツ大会、歌謡祭などもあります。

野菜祭り（ヤーサイ）



平田町^{へない}戸内^{とうりんじ}の藤林寺で毎年8月16日に行われる伝統ある祭り。竹まわしや盆踊り、やぐら回しなどが行われます。ヤーサイは、かつて中村（現・四万十市）を治めた一条公が平田御殿においてになるとき、村人たちが直接野菜を献上することを恐れ多いとし、竹に野菜を結んで差し上げたことから始まったともいわれています。昭和38年に宿毛市無形民俗文化財に指定されています。



近代若衆宿の一種で現存する国指定文化財
「浜田の泊屋」



国指定史跡
「宿毛貝塚」

連綿と続く地域のいとなみ

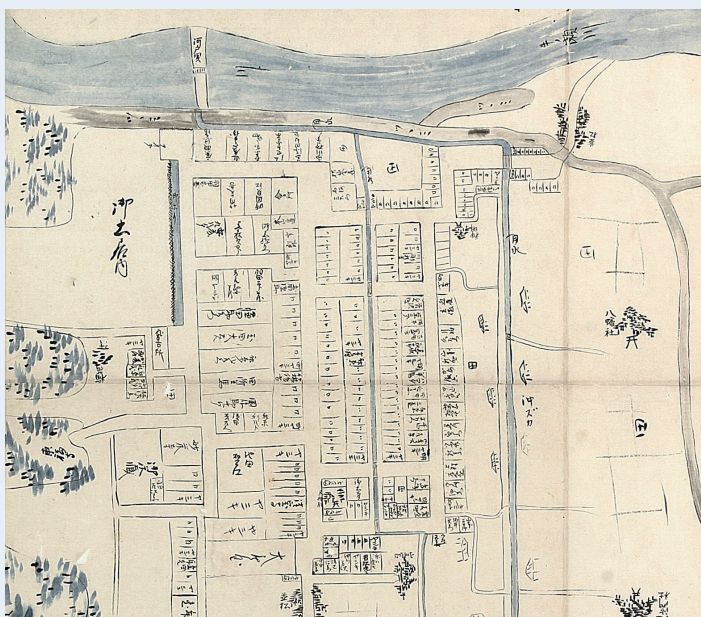
「宿毛」という地名は一説に、海辺に群生する葎が枯れた様子を、古来「すくも」と呼んだことに由来するといわれます。古文書での初見は鎌倉時代ですが、宿毛貝塚や曾我山古墳からわかるように、太古から人々がいとなみを続けて成長を重ねました。

現在の高知県の西南域は元来、土佐国とは別に幡多国（波多国とも）があつて、のちに土佐一国になりますが、以後も異なる文化圏を育みます。宿毛湾、豊後水道をはさんだ九州との交流がうかがえるのも、この地域の特徴です。

国境のまちの成り立ち

戦国時代、土佐中村一条氏の繁栄と長宗我部氏の支配を経て、江戸時代になると宿毛一帯は、土佐初代藩主・山内一豊の姉・北方様きたがたさまの子から始まる領主が、土佐藩家老の立場で、代々駐在して独自性を保ちながら治めます。

土佐、伊予両国を街道で往来する国境のまちとして、そして宿毛湾を防御する海防の拠点として発展し、なかでも三代領主・節氏せつしの治世では、



宿毛領主邸宅「御土居内」を中心にした江戸時代のまち割り

土佐藩奉行・野中兼山けんざんの影響下で様々な事業が行われました。

その兼山は、土佐藩全域で土木事業や産業振興に指揮を執りますが、独裁的な手法に反発が集まって引退、さらに病死後、一族が罪人として宿毛の地で四十年間の幽閉生活を余儀なくされました。

兼山の宿毛での実績は、河戸堰や用水路、堤防の構築、沖の島と篠山の国境確定など多岐にわたり、宿毛の城下町風なまちづくりの礎となって、現代まで面影を残しています。

日本へ、世界へ、続く人材輩出

江戸時代から明治時代への激動期、坂本龍馬に代表される土佐にあって、宿毛からも多くの人材が新しい時代に羽ばたきます。十一代領主・氏理うじさとや私塾を開いた酒井南嶺ななれいによる先進の教育と、海防の鍛錬や海運業から導かれた先見力が実を結んだのでしよう。

北海道庁長官で札幌、旭川を整備した岩村通俊や、小岩井農場創始者の小野義真よししん、自由民権運動から国会議員になった竹内綱、マリア・ルス号事件など人権問題に尽力した大江卓が先駆者です。

また、並んで国務大臣を歴任して宿毛の再開発にも取り組んだ林有造、姫路城を破壊から守った中村重遠しげとほ、早稲田大学建学の母と慕われる小野梓、小松製作所創業の竹内明太郎、出版社富山房創業の坂本嘉治馬など、挙げればきりがありません。

そしてこの人材輩出の連鎖は昭和に入っても続きます。長期政権を担当して戦後日本の復興に大きな足跡を残した吉田茂や、その側近として国会議員を二十五年間勤続した林譲治が世に出るのです。



小野梓（正面）、竹内明太郎（左）、坂本嘉治馬（右）の胸像が並ぶ小野梓記念公園



昭和三十年代の真丁商店街



宿毛を訪れた吉田茂

まちづくり

地域資源

特産品

振興計画

基本情報

市のあゆみ

議会

産業

第1次産業

農業



恵まれた気候風土を活かし、オクラやブロッコリーなどの露地栽培、ネギやミョウガ、イチゴなどの施設園芸、海に面した南斜面での文旦や小夏などの果樹栽培が盛んに行われています。

農家の高齢化により、担い手の減少や耕作放棄地の増加といった問題を抱えています。果樹農家においては、「稼げる農業」として若い後継者が着実に育っており、また、施設園芸については経営的に安定が見込める農業として、他業種から担い手の参入が相次いでいます。宿毛市の魅力ある産業として、今後も最大限の支援を図っていきます。

水産業



ブリやマダイなどの魚類養殖業と釣りや中・小型まき網漁業など、温暖で静穏な宿毛湾や天然資源の豊富な沖の島・鶴来島の周辺海域といった恵まれた自然環境を背景に発展してきました。特に養殖ブリの生産量は全国シェアトップ10に入るなど、宿毛市の重要な産業となっています。養殖業を中心に若い後継者は育っていますが、漁業者の高齢化や担い手不足など、漁業や漁村を取り巻く環境は厳しい状況下にあります。

林業



宿毛市の面積のうち森林の割合は約84%となっており、そのうち人工林率は約60%と高く、樹種はヒノキが大部分を占めています。宿毛市のヒノキは木肌が淡紅色で油脂分を多く含み腐りにくいことから「幡多ヒノキ」と呼ばれ、市場で高く評価されています。多くのヒノキが植樹後50年を超え主伐期を迎えています。このため、森林組合や林業事業者等と連携した計画的な森林整備及び地域おこし協力隊制度を活用した担い手確保等に取り組んでいます。

第2次・第3次産業

高知西南中核工業団地



宿毛市の東部、平田町^{へない}戸内地区に位置する「高知西南中核工業団地」は、昭和63年第1期分譲開始から数えて30年以上の長きに渡り宿毛市産業の中核となっています。

立地企業については、電子・精密機械、木質バイオマス発電所など県内外の企業21社と物流組合グループが操業しており、高知県西南部最大の産業集積地域として、宿毛市の雇用のみならず、幡多地域全体の大切な雇用の場となっています。

宿毛湾港工業流通団地



宿毛湾港は、四国の西南部、宿毛湾の奥部に位置し静穏な海域を有する立地条件を活かし、古くから天然の良港として、地域経済を支える港として発展してきました。昭和61年には、国の重要港湾にも指定されており、4万トクラスの大型船舶にも対応可能な岸壁（水深13m）のほか、3バースを整備しています。

「宿毛湾港工業流通団地」では、造船や食品加工の企業3社が操業し新たな産業集積地域となっており、物流拠点としての期待も高まっています。

商工業



「働くなら宿毛市」を目指し、創業・事業承継者らに向け宿毛商工会議所と連携して相談に対応するほか、情報発信、人材教育の機会の提供を行うなど、中小企業等の販路の開拓も支援しています。

また、農水産物等の地域資源を活用した商品開発・製造・加工などの地場産業（地域産業）活性化のため補助事業を実施するなどの取り組みを進めています。

鰹・鮪・鯛

海産物



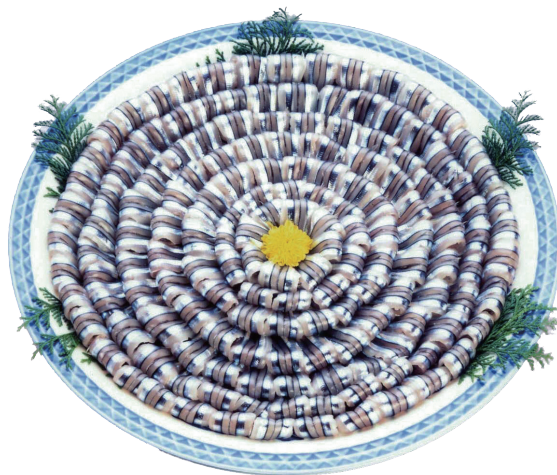
宿毛湾は黒潮が豊後水道へ流れ込む入口に面し、「魚のゆりかご」とよばれるほど豊富な魚種が生息しています。県内トップクラスの生産高になっている養殖魚の鮪、真鯛、漁師が一本釣りの極上の鰹が絶品です。

時期	鰹	3～6月、9～11月
	鮪	10～2月
	鯛	12～5月

地域資源

特産品

キビナゴ



宿毛湾は全国的に知られたキビナゴの好漁場です。新鮮なキビナゴは刺身で食べると最高です。

時期 5～6月、10～11月

振興計画

基本情報

特産品

焼酎

珊瑚



地元で栽培された原料を使用し、朝掘り昼仕込みで丹精込めて造り上げた芋焼酎です。

「すくもの芋」はコクがあり芳醇、「ざまに」はキレがあり爽やか、「土佐藩」はすっきりとした喉越しとコク、「翠王」はほんのり甘くすっきりとした口当たりが楽しめます。「ざまに」とは高知県幡多地方の方言で「すごく、本当に」の意味です。

時期 通年



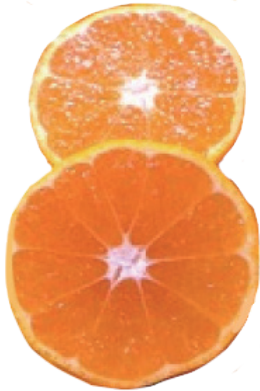
深海の秘宝といわれる珊瑚。宿毛市の珊瑚加工は評価が高く、上品な美しさが人気です。珊瑚の加工品にはピアス、ペンダント、ブローチや根付といった多彩なアクセサリから、原木を磨いた置物などがあります。

時期 通年

市のあゆみ

議会

果物



温州みかん

太平洋から吹く潮風と柑橘類に適した土壌で、濃い甘さのあるみかんが育ちます。

時期 10～2月

なおしち
直七

古くから宿毛で愛されてきた酢みかん。スタチの仲間、酸味が柔らかく味はすっきりとまろやかです。宿毛市では、直七の産地化を図り、今では生産量が全国第1位となっています。ポン酢、果汁、たたきのたれ、ドレッシング、ジャム、カクテルなどに商品化され全国で販売されています。

時期 通年

だるま苺



品種は「さがほのか」で、大粒でだるま夕日のようにまんまとした形のものを選別し、だるま苺として出荷しています。すっきりとした甘さとジューシーな口当たりの良い美味しい苺です。

時期 12～5月

文旦
ぶんたん

独特の香りと果肉の爽やかな口触り、上品な甘さが人気の冬の柑橘。黄金色に輝く果肉は、プチプチ、シャクシャクしたクセになる食感です。

時期 1～3月

小夏
こなつ

県外では「日向夏」、「ニューサマー」とも呼ばれる初夏の果物。甘すぎないジューシーな果肉と上品な味わいが楽しめます。

時期 3～5月

宿毛市振興計画

宿毛市振興計画は、人口減少基調にあっても、次代に生きる市民が安心していきいきと暮らすことができるよう、本市が目指す長期的な目標と、各分野において取り組むべき基本施策の方向を定めるとともに、まち・ひと・しごと創生のための重点戦略を包括的に盛り込み、PDCAサイクルのもと、着実に推進していくために策定しました。

まちの将来像

人が輝き 自然と生きる 共感・共創のまち“宿毛”

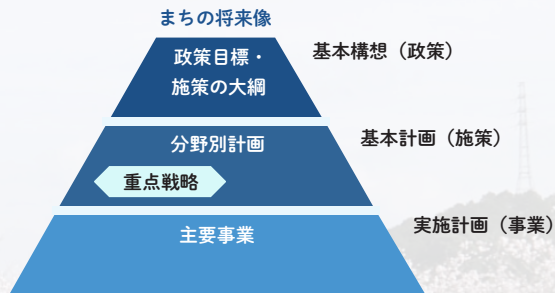
計画期間

令和3年度から令和11年度までの9年間

※「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間は令和2年度から令和6年度まで

計画構成

本計画は、まちづくり全体の基本的な方向を示すもので、基本構想、基本計画、実施計画で構成します。基本計画は、分野別計画と、各分野との関係を明確に位置づけた重点戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）の2部構成とします。



基本構想

政策目標1

地域資源を生かし明日の産業を創る

- 基本施策1 農業の振興
- 基本施策2 林業の振興
- 基本施策3 水産業の振興
- 基本施策4 商工業の振興

政策目標2

学びと交流で明日の人を創る

- 基本施策5 観光の振興
- 基本施策6 スポーツの振興
- 基本施策7 学校教育の充実
- 基本施策8 生涯学習の充実

政策目標3

安心できる暮らしの基盤を創る

- 基本施策9 自然豊かで安心・快適に暮らせるまちづくりの推進
- 基本施策10 交通基盤の充実
- 基本施策11 うるおいある環境の保全
- 基本施策12 生活安全対策の強化
- 基本施策13 コミュニティの振興
- 基本施策14 健全な行財政運営の推進

政策目標4

希望をかなえ、健やかに暮らせるまちを創る

- 基本施策15 出会い・結婚への支援の推進
- 基本施策16 子育てにやさしいまちづくりの推進
- 基本施策17 地域福祉の充実
- 基本施策18 高齢者支援の充実
- 基本施策19 障害者福祉の充実
- 基本施策20 保健・医療の充実
- 基本施策21 人権の尊重と男女共同参画の推進

重点戦略

基本目標1

地産外商により魅力のある仕事をつくる

地産外商の強化により仕事をつくり若者の県外流出の防止や移住者の増加につなげるなど、人口減少に歯止めをかける好循環を生み出すための取り組みを進める中で、地産強化に向けた担い手の確保は喫緊の課題となっています。そのため、「担い手の確保」に重点を置き、人材確保・後継者育成を推進するとともに、創業支援や新たな企業誘致など様々な雇用の場の拡大に向けた取り組みを進めていきます。

あわせて、引き続き、地域の外商力の向上や販路拡大に向けた支援に取り組むことで、地産外商の強化を推進していきます。

- 施策**
- 1 「地産」の強化、担い手の確保・育成
 - 2 「外商」の強化

基本目標3

結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

自分らしい人生を過ごすうえで、様々な生き方や考え方があります。そうした、それぞれの意思に基づいた生き方を応援する中で、「出会い」や「結婚」、「妊娠・出産」「子育て」への支援を希望する方を応援し、希望をかなえるための施策を推進していきます。

また、出産や子育て期において、家計や夫婦関係、心身の健康など、様々な不安に悩み、孤立することがないように、母子保健推進員をはじめとする地域住民や専門機関が地域全体で子育てを支えるとともに、仕事と家庭生活における固定的な男女の役割分担意識の解消や男女共同参画への意識啓発に向けた取り組み、仕事と子育てが両立できる環境整備など女性が活躍できる社会の拡大を目指す取り組みもあわせて推進し、子育てにやさしいまちづくりを進めていきます。

- 施策**
- 1 結婚の希望をかなえる取り組み
 - 2 子育てにやさしいまちづくりの推進

基本目標2

新しい人の流れをつくる

都市圏をはじめとする他地域の潜在的な移住希望者を、移住・定住に結び付けるためには、まず宿毛を知ってもらい、「宿毛に住みたい」と思ってもらうことが重要です。

豊かな自然を生かした観光やスポーツ、宿毛市の暮らしを体験するツアーなどを通じた「交流人口」「関係人口」を拡大し、将来的な移住にもつながるきっかけづくりに取り組みます。

あわせて、積極的な移住・定住施策を推し進めることで、移住者の増加を目指します。

- 施策**
- 1 観光・スポーツ等による交流拡大
 - 2 移住・定住の促進

基本目標4

安心して暮らすことができる地域をつくる

人口減少、少子高齢化の進行により、地域生活を支える生活基盤や地域コミュニティ機能の維持が難しくなってきたこと、様々な生活課題が出てきていることから、今日の社会にあった形で、地域の支えあい機能を再構築していく必要があります。また、高齢化や高齢単身世帯の増加などにより、移動手手段の確保やひきこもりにならないよう取り組む必要もあります。

地域住民がお互いに生活課題の解決のために支えあう取り組みを進めるとともに、公共交通の人口カバー率の向上を目指し、住んでいる地域と生活基盤となる商業施設や病院、小地域拠点がある地域との連結を進めていきます。

あわせて、想定される南海トラフ地震や近年、地球温暖化等の影響によって増加している豪雨災害など、防災体制づくりや地球温暖化対策についても、地域全体で取り組むことで、安心して生活していけるまちづくりを進めていきます。

- 施策**
- 1 生活支援拠点の充実と地域との連携
 - 2 災害に強いまちづくりの推進
 - 3 地球温暖化防止対策の推進

沿革

宿毛市は、高知県内でも早くから開けた集落で文明年間には対明貿易の基地として繁栄した歴史あるまちであり、美しい自然と温かな人柄のある地域を背景に明治以降の日本に多大な影響を与えた人材を多く輩出したまちです。また、気象的、地形的好条件に恵まれ農林水産業をはじめ、各種産業の振興と相まって四国西南地域の中核都市として栄えています。昭和29年3月31日、町村合併促進法施行に伴い宿毛・小筑紫・平田・山奈・橋上・沖の島の6カ町村が合併し、人口3万2,200人余りを擁する宿毛市として誕生しました。

宿毛市章



片仮名の「ス」を図案化したもので、丸は市民の平和と円満なる発展を象徴し、下部の両翼は力強い安定感を表現しています。公募により選ばれました。

市民憲章

みどりの宝庫篠山連峰、清流の松田川、青い海に珊瑚礁の映える沖の島、資源豊かな宿毛湾、私たちはこの美しい自然と先人ののこされた薫り高い文化と伝統を受けついでいます。私たちは、この郷土に住むことに誇りと喜びを感じ、子どもに夢を、青少年に希望を、おとしよりに安らぎをあたえる明るく豊かな理想のまちをきずくためにこの憲章を定めます。

私たち宿毛市民は、

- 1 環境をととのえ、花や緑を育て、住みよい家庭とまちをきずきましょう。
- 1 きまりを守り、健康で働き、明るい家庭とまちをきずきましょう。
- 1 善意をひろめ、ひとりひとりを大切に、平和な家庭とまちをきずきましょう。
- 1 教養を高め、文化と産業を興し、豊かな家庭とまちをきずきましょう。
- 1 進取の気風を養い、創意と工夫で楽しい家庭とまちをきずきましょう。

名誉市民

(敬称略、順不同)

おくたに ひろし
奥谷 博



洋画家 文化勲章受章

おくしま たかやす
奥島 孝康



第十四代早稲田大学総長

おかむら いさお
岡村 勲



弁護士
元 全国犯罪被害者の会会長

さかもと よしひろ
坂本 嘉廣



財団法人 坂本報効会
理事長

はぎわら としたか
萩原 敏孝



元 株式会社小松製作所
代表取締役会長

おかもと ともたか
岡本 知高



ソプラニスタ

かじわら だいき
梶原 大樹



元 豊ノ島関
井筒親方

まちづくり

地域資源

特産品

振興計画

基本情報

市のあゆみ

議会

地勢

宿毛市は、四国の西南端（東経 132 度 43 分、北緯 32 度 56 分）に位置し、西には高知県唯一の有人離島沖の島、鵜来島うぐるしまがあり総面積は 286.17km²（令和 4 年 1 月現在）となっています。地形は、全般的に山岳・丘陵地帯で構成され、篠山を主峰とした全域の約 84% が森林地帯となっており、その間を清流松田川が宿毛湾に向かって流れ、河口付近では数々の水鳥の乱舞がみられます。気候は、四季を通じて温暖で、足摺宇和海国立公園に属する豊かな自然と相まって第 1 次産業を中心に発展してきました。沖の島うぐるしまは日本有数の磯釣りのメッカとして多くの釣り客を魅了し、近年は日本屈指の透明度から、ダイビングスポットとして注目を集め県内外の来訪者も多くなってきています。冬には、気象条件が整えば、夕日が宿毛湾に沈むときにだるまのように見える「だるま夕日」を見ることができます。

位置

東経 132 度 43 分
北緯 32 度 56 分

面積

286.17km²
(令和 4 年 1 月 国土地理院)

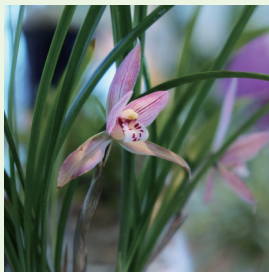


シンボル

市のシンボルは、宿毛市制施行 20 周年記念行事の 1 つとして、一般公募にて決定したものです。

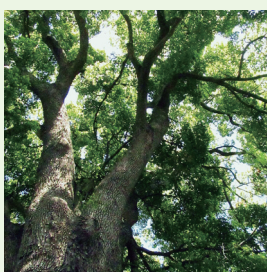
市の花

寒 蘭



市の木

く す



市の魚

石 鯛



市の鳥

めじろ



マスコットキャラクター

すくものはなちゃんと仲間たち

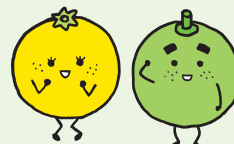
元気いっぱいの子。
みんなを明るい気分にさせる。

PROFILE

名前 さくら はな
誕生日 3 月 22 日
年齢 7 歳
血液型 O 型
趣味 自然の中で遊ぶこと



はなちゃんの夢は、
大好きなすくものことを、もっと
いっぱいの人に知ってもらおうこと！



宿毛市のあゆみ

今から、3、4千年前、松田川河口に形成される宿毛の中心地は、遠浅の海でした。そのため、満潮時になると海水が押し寄せて来るほどの大渾原で、一面に葦が生い茂っていたといわれています。古代の人々は、和歌等にも詠まれているように、枯れた葦のことを「すくも」と言い、宿毛の名前の由来はここからきていると言われています。

昭和29年3月31日に町村合併施行に伴い、宿毛・小筑紫・平田・山奈・橋上・沖の島の6カ町村が合併し、面積287.79㎦、人口3万2,200人余りを擁する宿毛市として誕生しました。宿毛市誕生から現在に至るまでの歩みを振り返ります。



昭和28年 宿毛市街地



昭和30年 片島商店街



昭和20年代 咸陽島

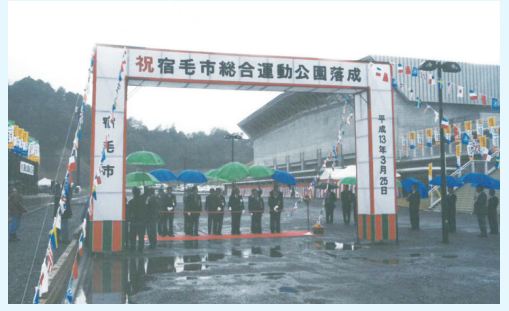
年	月	出来事
10月	3月	「宿毛市野球場」完成
8月	3月	「宿毛・佐伯フェリー」運航開始
4月	4月	日向灘地震（被害総額約12億8千万円）／国民宿舎「椰子」完成
1月	3月	「宿毛消防署」署員22名で発足
3月	4月	市街中心部で大火（マーケットなど47世帯被災）
3月	1月	市街中心部で大火（新町区被災48世帯）
3月	3月	沖の島駐在保健婦の荒木初子氏が吉川英治賞授賞
1月	10月	吉田茂元総理死去
5月	3月	宿毛市章決まる
4月	3月	市庁舎完成
3月	3月	市街中心部で大火（マーケットなど47世帯被災）
3月	3月	「浜田の泊屋」重要民俗資料に指定
3月	3月	宿毛町、小筑紫町、橋上村、平田村、山奈村、沖の島村、2町4村が合併し宿毛市となる
4月	4月	大海漁協が初めてハマチ養殖に着手／林譲治先生（元副総理）死去
5月	5月	チリ海底地震津波で、片島・大島約200戸浸水
1月	1月	宿毛市章決まる
3月	3月	市街中心部で大火（マーケットなど47世帯被災）
3月	3月	「宿毛市野球場」完成
3月	3月	「宿毛・佐伯フェリー」運航開始
9月	9月	「宿毛市野球場」完成
3月	3月	「宿毛市野球場」完成
3月	3月	「宿毛市野球場」完成
4月	4月	日向灘地震（被害総額約12億8千万円）／国民宿舎「椰子」完成
10月	10月	市街中心部で大火（マーケットなど47世帯被災）
8月	8月	沖の島駐在保健婦の荒木初子氏が吉川英治賞授賞
5月	5月	真丁商店街アーケード完成
10月	10月	台風16号猛威（県内被害総額約135億7,100万円）
10月	10月	「沖の島開発総合センター」完成
12月	12月	「幡西し尿処理場」完成
1月	1月	「宿毛市野球場」完成
10月	10月	浩宮さま宿毛市を訪問
6月	6月	「宿毛市総合社会福祉センター」完成
8月	8月	「学校給食センター」完成
6月	6月	宿毛湾港が重要港湾に指定
4月	4月	「高知西南中核工業団地」操業開始
1月	1月	重要港湾宿毛湾建設事業起工式
4月	4月	「宿毛文教センター」完成
8月	8月	高知県立宿毛高等学校野球部が甲子園初出場
10月	10月	「土佐くろしお鉄道」宿毛線開通



きぼうが丘保育園



宿毛市役所新庁舎



宿毛市総合運動公園 落成式



宿毛小学校および宿毛中学校新校舎

	R4	R3	R2	H31	H30	H29	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H18	H17	H16	H14	H13	H11	H10	
4月																					
3月																					
4月																					
4月																					
7月																					
4月																					
11月																					
7月																					
4月																					
3月																					
2月																					
4月																					
8月																					
4月																					
3月																					
9月																					
11月																					
12月																					
10月																					
3月																					
12月																					
3月																					
4月																					
10月																					
9月																					
3月																					
11月																					
9月																					
3月																					
2月																					
4月																					
8月																					

議会

まちづくり

地域資源

特産品

振興計画

基本情報

市のあゆみ

議会



市議会は、市民を代表する市議会議員が市民の意思を行政に反映させるために、さまざまな問題を話し合い、市政の方針を決定する機関です。宿毛市議会は定数14人で構成され、総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会・予算決算常任委員会の3常任委員会と議会運営委員会を設置し、議案等の審査や議会運営に関する協議を行っています。

年4回開催される定例会や必要に応じて開催される臨時会を通じ、討議を重ねながら、市政の健全な発展と市民生活の向上に寄与する市民に開かれた議会を目指しています。



自然
地圖

人口

產業
構造

農
林業

水
產業

事
業所

教
育

福
祉

保
健

財
政

宿
毛
大
使

議
會

行
政

行
政
機
構

資料編

自然・地図

宿毛市の位置・面積

(令和4年1月 国土地理院)

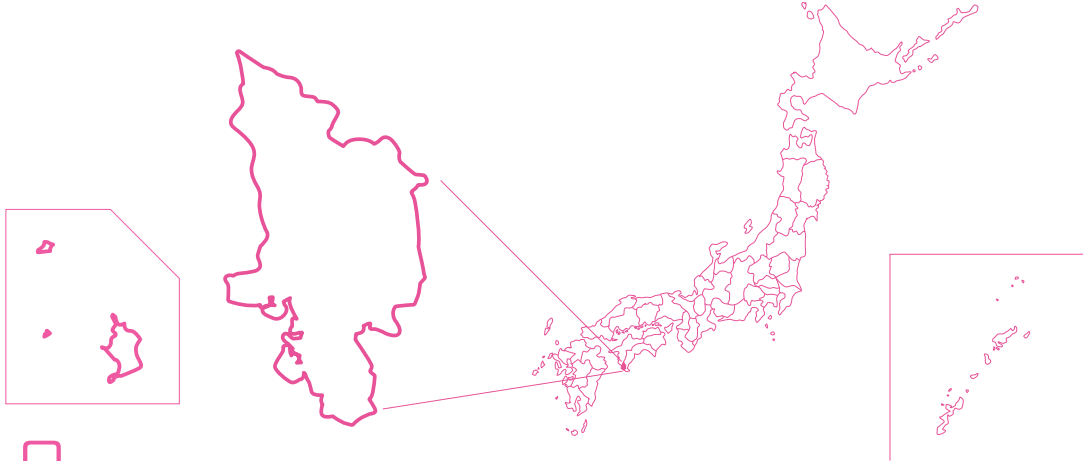
位置		面積
東経	北緯	
132° 43'	32° 56'	286.17km ²

人口・世帯数

(令和4年3月1日 住民基本台帳)

人口	世帯数
19,457人	9,950

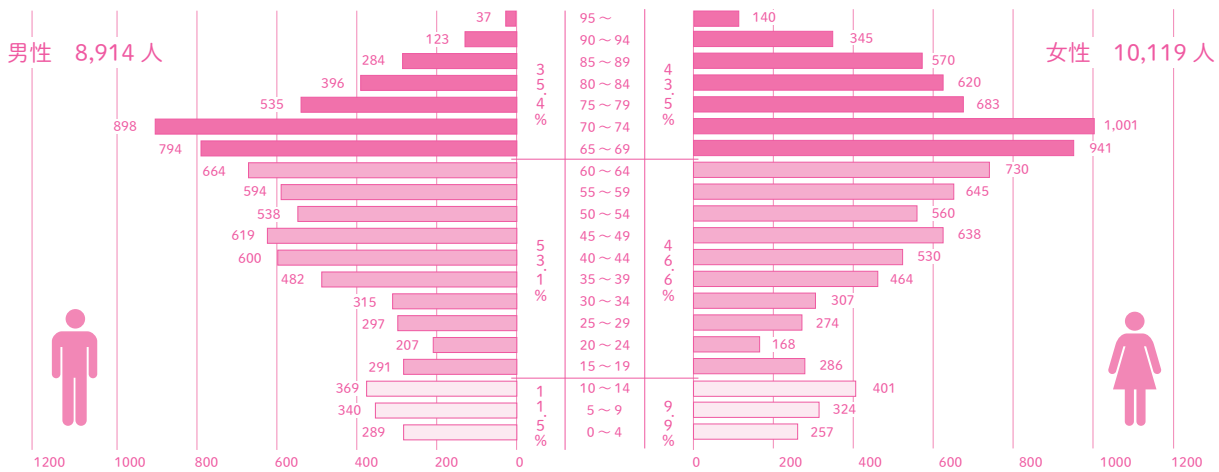
宿毛市の地図



人口

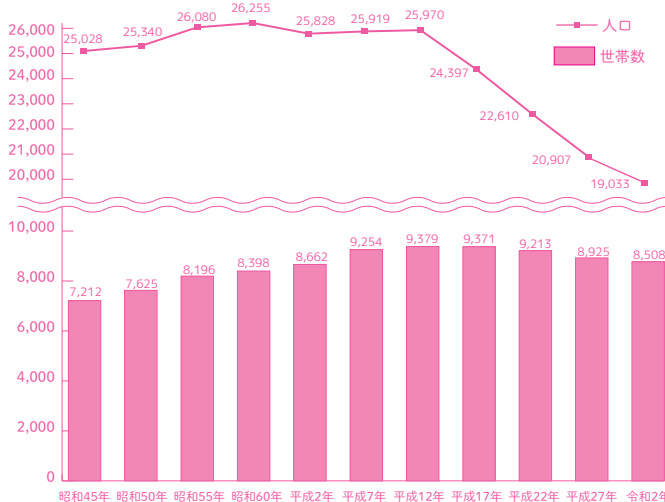
年齢階層別人口

(令和2年国勢調査)



人口と世帯数のうごき

(国勢調査)

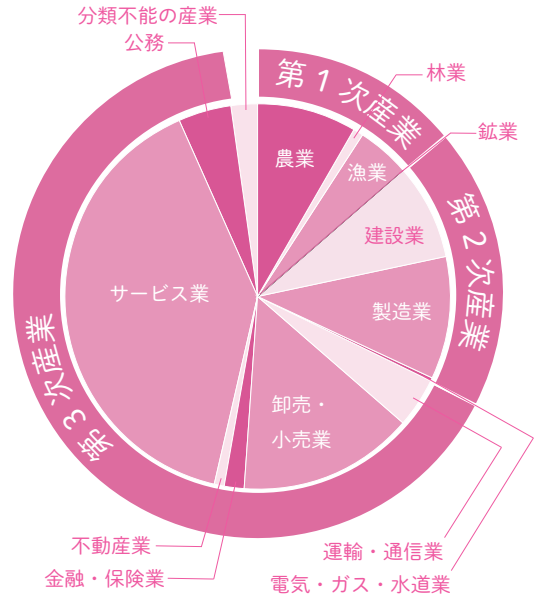


年次	世帯数	人口	1世帯あたりの人口	増加率	1km ² あたりの人口
昭和45年	7,212	25,028	3.5	-7.3%	87.9
昭和50年	7,625	25,340	3.3	1.2%	89.0
昭和55年	8,196	26,080	3.2	2.9%	91.6
昭和60年	8,398	26,255	3.1	0.7%	92.2
平成2年	8,662	25,828	3.0	-1.6%	90.5
平成7年	9,254	25,919	2.8	0.4%	90.8
平成12年	9,379	25,970	2.8	0.2%	90.9
平成17年	9,371	24,397	2.6	-6.1%	85.3
平成22年	9,213	22,610	2.5	-7.3%	79.0
平成27年	8,925	20,907	2.3	-7.5%	73.1
令和2年	8,508	19,033	2.2	-9.0%	66.5

産業構造

産業（大分類）別就業者数 （令和2年国勢調査）

分類		総数	男	女
総数		8,259	4,330	3,929
第1次産業	総数	1,137	788	349
	農業	693	403	290
	林業	80	73	7
	漁業	364	312	52
第2次産業	総数	1,510	1,053	457
	鉱業	3	2	1
	建設業	668	562	106
製造業	839	489	350	
第3次産業	総数	5,435	2,388	3,047
	電気・ガス・水道業	32	28	4
	運輸・通信業	343	281	62
	卸売・小売業	1,215	575	640
	金融・保険業	140	41	99
	不動産業	52	25	27
	サービス業	3,296	1,211	2,085
	公務	357	227	130
	分類不能の産業	177	101	76

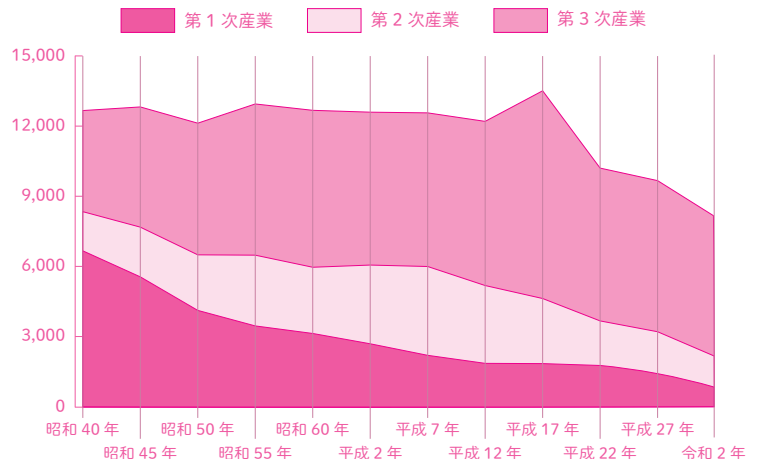


産業別人口と年齢別人口 （令和2年国勢調査）

産業別 年齢別	総数	第1次産業			第2次産業			第3次産業						分類不能	
		農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	サービス業		公務
総数	8,259	693	80	364	3	668	839	32	343	1,215	140	52	3,296	357	177
15~19	36	1	-	3	-	5	2	-	2	5	-	-	14	4	-
20~24	235	7	-	18	-	11	25	-	8	36	6	-	110	13	1
25~29	412	12	3	14	1	17	35	3	16	58	6	5	188	39	15
30~34	478	23	2	29	-	29	48	3	18	61	9	3	192	46	15
35~39	734	41	6	37	-	39	72	7	32	102	14	4	312	55	13
40~44	894	51	16	32	-	59	108	5	43	127	20	3	372	43	15
45~49	971	32	11	40	1	82	126	4	50	136	24	1	391	61	12
50~54	850	44	7	35	1	70	99	1	47	125	13	6	355	35	12
55~59	956	47	9	27	-	85	101	3	52	142	24	4	424	31	7
60~64	879	68	8	32	-	109	81	1	33	144	15	4	345	14	25
65~69	821	124	12	32	-	88	59	2	23	129	6	10	301	8	27
70~74	623	124	3	44	-	56	49	3	13	94	3	7	196	8	23
75~79	218	63	3	9	-	12	19	-	3	37	-	3	62	-	7
80~84	99	38	-	9	-	3	11	-	2	9	-	2	22	-	3
85~89	34	10	-	3	-	2	1	-	1	7	-	-	9	-	1
90~94	16	8	-	-	-	1	1	-	-	2	-	-	3	-	1
95~	3	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-

産業別人口の推移 （国勢調査）

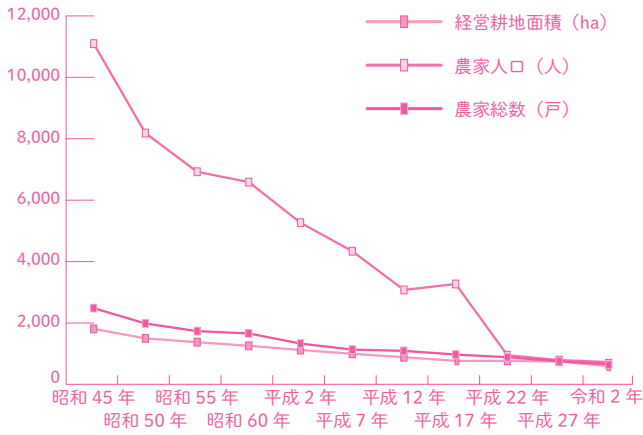
年次	第1次	第2次	第3次	分類不能	合計
昭和40年	6,670	1,676	4,324	7	12,677
昭和45年	5,557	2,127	5,141	8	12,833
昭和50年	4,123	2,376	5,631	10	12,140
昭和55年	3,459	3,026	6,467	4	12,956
昭和60年	3,136	2,832	6,712	2	12,682
平成2年	2,695	3,367	6,539	3	12,604
平成7年	2,201	3,799	6,571	4	12,575
平成12年	1,858	3,328	7,021	1	12,208
平成17年	1,847	2,784	8,884	15	13,530
平成22年	1,767	1,906	6,536	34	10,243
平成27年	1,417	1,793	6,463	36	9,709
令和2年	1,137	1,510	5,435	177	8,259



農林業

農家人口等の推移

(農林業センサス)



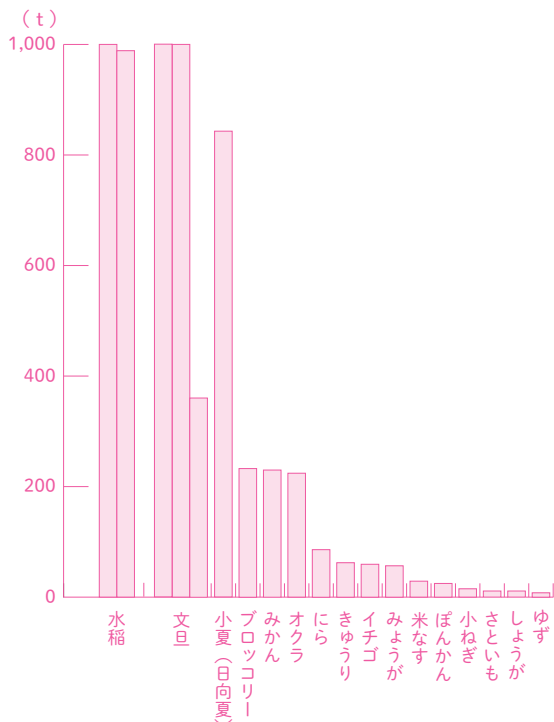
年	農家総数 (戸)	農家人口 (人)	経営耕地面積 (ha)
昭和45年	2,485	11,096	1,808
50年	1,985	8,184	1,500
55年	1,736	6,925	1,377
60年	1,661	6,588	1,258
平成2年	1,331	5,265	1,123
7年	1,135	4,339	998
12年	1,094	3,077	886
17年	975	3,271	769
22年	886	(※1) 950	769
27年	755	(※1) 792	747
令和2年	499	(※2) 693	716

(※1) 平成22年、27年は農業就業人口 (高知県統計書)

(※2) 令和2年は農業就業者数 (国勢調査)

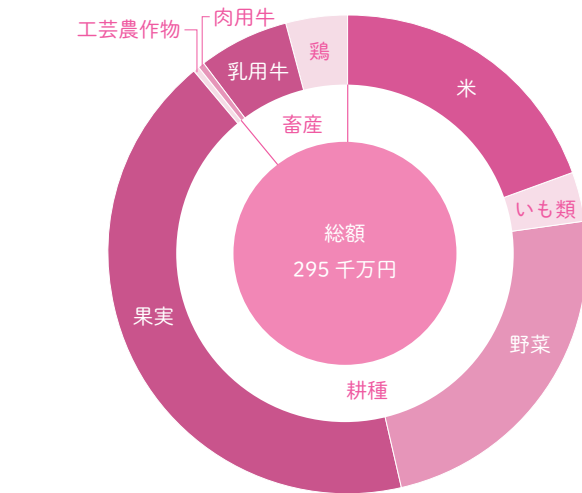
主要農作物収穫量 (令和3年産)

(作物統計調査令和3年産市町村別データ・令和4年3月高知県の園芸)



農業産出額

(令和2年市町村別農業産出額(推計))



種別	金額	構成比
米	48	19.6%
豆類	0	0.0%
いも類	8	3.3%
野菜	58	23.7%
果実	104	42.4%
花き	x	x
工芸農作物	1	0.4%
その他作物	x	x

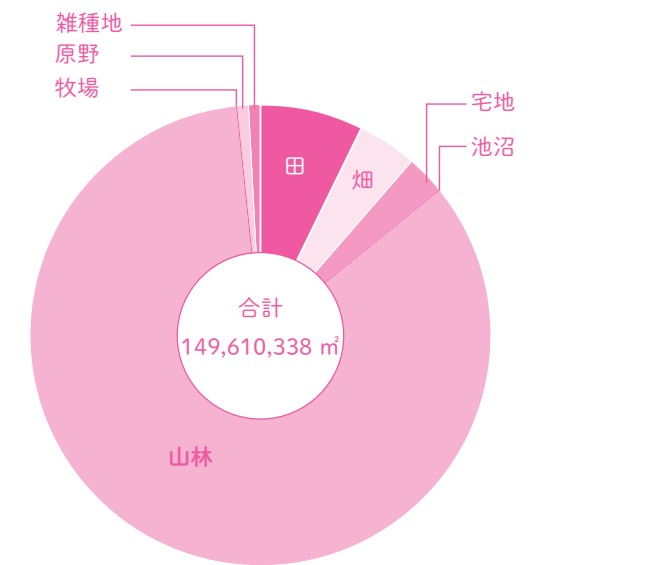
金額の単位: 千万円

種別	金額	構成比
肉用牛	1	0.4%
乳用牛	15	6.1%
豚	x	x
鶏	10	4.1%
その他畜産物	x	x

「x」… 個人または法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

地目別面積

(令和3年度固定資産概要調査)



単位: ㎡

田	11,179,564	山林	125,397,962
畑	6,119,904	牧場	11,883
宅地	4,340,134	原野	1,193,731
池沼	111,278	雑種地	1,255,882

自然
地図

人口

産業
構造

農林業

水産業

事業所

教育

福祉

保健

財政

宿毛
大使

議会

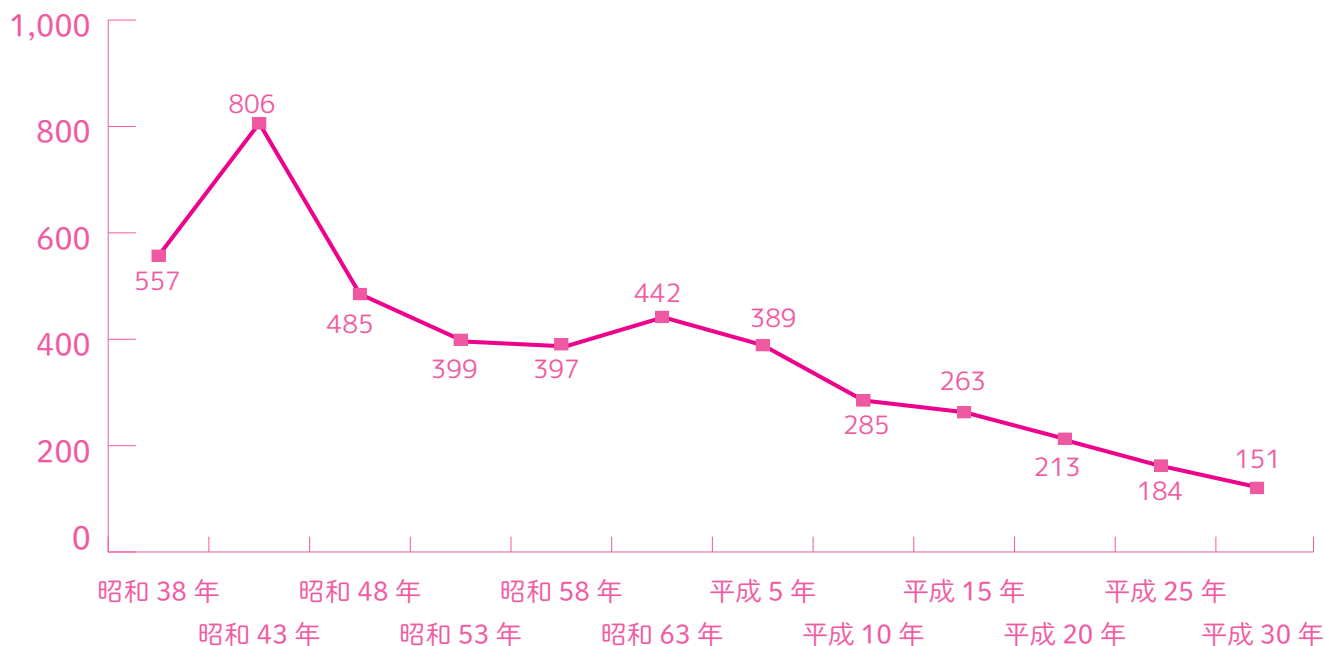
行政

行政
機構

水産業

経営体数の推移

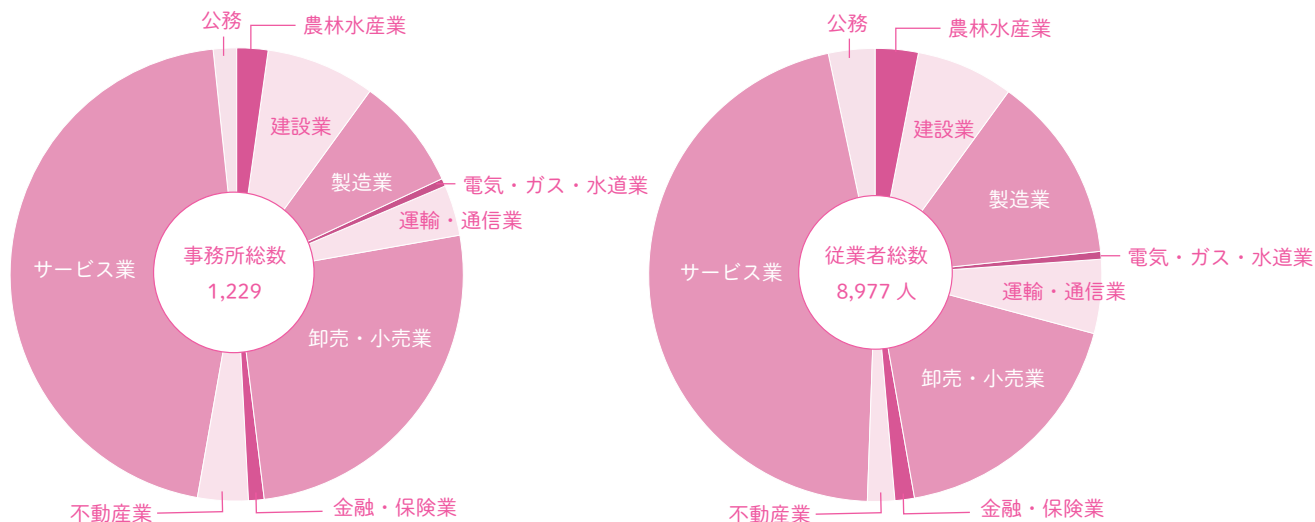
(平成 30 年漁業センサス)



事業所

産業別事業所数及び従業者数

(令和 3 年経済センサス)



業 種	事業所数 (カ所) / 構成比		従業者数 (人) / 構成比	
	事業所数	構成比	従業者数	構成比
農林水産業	30	2.4%	279	3.1%
建設業	93	7.6%	640	7.1%
製造業	101	8.2%	1,198	13.3%
電気・ガス・水道業	7	0.6%	52	0.6%
運輸・通信業	43	3.5%	455	5.1%
卸売・小売業	319	26.0%	1,624	18.1%
金融・保険業	13	1.1%	135	1.5%
不動産業	44	3.6%	172	1.9%
サービス業	559	45.5%	4,132	46.0%
公務	20	1.6%	290	3.2%

教育

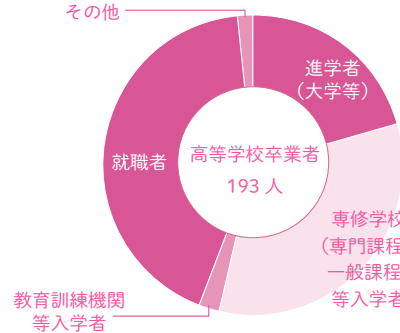
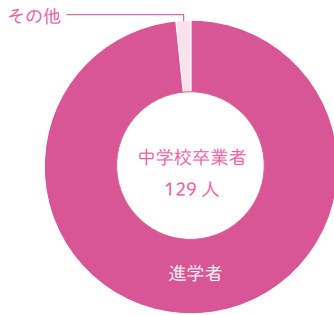
学校・学級・生徒等・教職員数

(令和3年度学校基本調査)

種別	学校数	学級数	園児・児童・生徒数			教職員数
			総数	男	女	
幼稚園	1	5	71	39	32	16
小学校	8	65	866	439	427	110
中学校	6	28	418	185	233	74
高等学校	2	-	505	303	202	81

卒業後の状況

(令和3年度学校基本調査)



内訳	人数	率
進学者	127	98.4%
就職者	0	0.0%
その他	2	1.6%

内訳	人数	率	内訳	人数	率
進学者(大学等)	40	20.7%	教育訓練機関等入学者	4	2.1%
専修学校(専門課程・一般課程)等入学者	64	33.2%	就職者	82	42.5%
			その他	3	1.6%

図書館利用状況

(令和3年度実績 坂本図書館)

内容	数	
蔵書数	本(読み物全て)	96,371
	映像(DVD・VHSなど)	706
	その他(CDなど)	272
年間貸し出し冊数	68,090	

福祉

保育園数、園児数

(令和4年4月1日現在 福祉事務所)

名称	園児数	備考
沖の島保育園	0	平成31年4月1日から休園中
山田保育園	48	
平田保育園	44	
小筑紫保育園	18	
二ノ宮保育園	29	
きぼうが丘保育園	200	
私立 宿毛保育園	108	
計	7	447

保健

病院・診療所・歯科医院・医師数等

(令和4年4月1日現在 こうち医療ネット)

種別	数
病院	5 力所
診療所	12 力所
歯科医院	11 力所
医師	74 人
薬剤師	24 人
歯科医師	14 人
病床数	693 床

財政

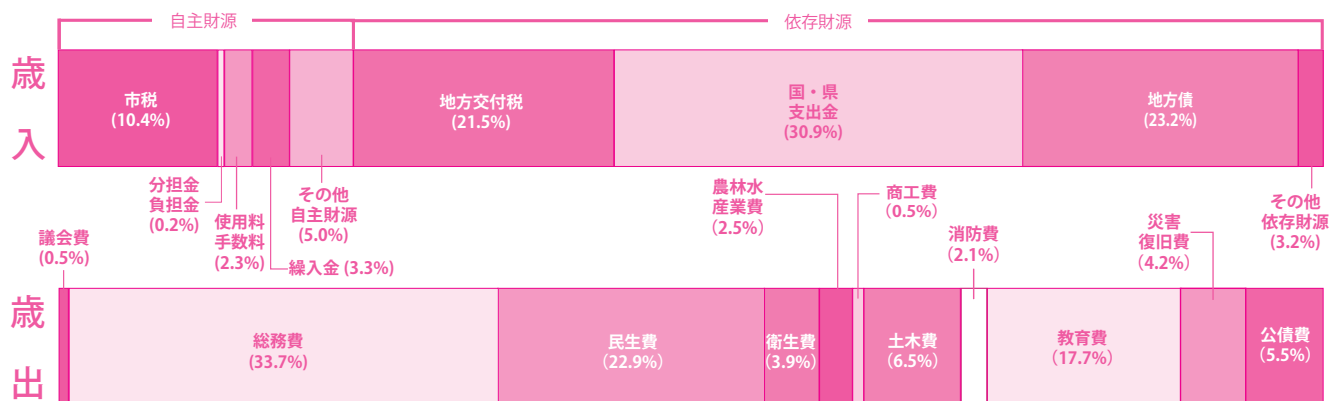
年度別一般会計歳入歳出決算額

(総務課財政係)

歳入				歳出				
単位：千円				単位：千円				
区分	H30 年度決算額	R 元年度決算額	R2 年度決算額	区分	H30 年度決算額	R 元年度決算額	R2 年度決算額	
自主財源	市税	2,189,413	2,217,704	2,181,543	議会費	129,473	121,864	113,485
	分担金・負担金	48,106	54,689	36,890	総務費	1,815,077	2,508,565	6,779,247
	使用料・手数料	492,590	483,730	472,524	民生費	4,560,944	4,529,114	4,616,209
	繰入金	270,416	678,690	689,191	衛生費	748,652	729,872	775,405
	その他自主財源	568,760	651,584	1,044,014	農林水産業費	334,187	912,217	507,807
	自主財源 計	3,569,285	4,086,397	4,424,162	商工費	113,006	178,820	101,325
依存財源	地方交付税	4,576,752	4,452,495	4,493,373	土木費	1,112,556	1,458,550	1,309,672
	国・県支出金	2,456,289	4,291,242	6,443,372	消防費	417,077	363,659	413,399
	地方債	1,214,338	1,495,532	4,839,634	教育費	1,215,564	952,361	3,570,569
	その他依存財源	566,001	557,692	670,729	災害復旧費	612,364	1,334,029	848,665
	依存財源 計	8,813,380	10,796,961	16,447,108	公債費	1,244,079	1,227,393	1,100,106
計	12,382,665	14,883,358	20,871,270	計	12,302,979	14,316,444	20,135,889	

令和 2 年度一般会計歳入歳出決算額

(総務課財政係)



令和 2 年度特別会計・企業会計決算

(総務課財政係)

特別会計	歳入総額	歳出総額	翌年度繰越額	実質収支額	歳入のうち一般会計からの繰入金
国民健康保険事業	2,681,627	2,681,627	0	0	264,240
へき地診療事業	53,394	53,394	0	0	13,999
定期船事業	121,060	121,060	0	0	13,736
特別養護老人ホーム	112,090	112,090	0	0	91,687
学校給食事業	202,937	202,937	0	0	124,187
下水道事業	561,209	557,986	3,223	0	375,410
国民宿舎運営事業	25,712	25,712	0	0	0
幡多西部介護認定審査会	3,271	3,271	0	0	0
介護保険事業	2,387,802	2,362,655	0	25,147	447,578
土地区画整理事業	11,563	11,563	0	0	6,032
後期高齢者医療	327,867	322,898	0	4,969	117,095
計	6,488,532	6,455,193	3,223	30,116	1,453,964

企業会計	区分	収入	支出	収支差引	補てん財源
水道事業	収益的収支	494,024	392,570	101,454	
	資本的収支	175,121	316,057	△ 140,936	140,936
計		669,145	708,627	△ 39,482	140,936

議会

議長

てらだ こういち
寺田 公一
令和3年5月10日就任

副議長

たかくら まゆみ
高倉 真弓
令和3年5月10日就任

行政

市長

なかひら とみひろ
中平 富宏
平成27年12月26日就任
令和元年12月26日就任

副市長

いわもと まさひこ
岩本 昌彦
平成28年1月20日就任
令和2年1月20日就任

教育長

かまだ はやと
鎌田 勇人
令和3年4月1日就任

宿毛大使

(敬称略・50音順・令和4年9月現在)

あまの のりあき 天野 紀明	早稲田大学 理事
いずみ まさし 泉 正史	元 株式会社ANA総合研究所 副社長 元 東海大学 観光学部観光学科 教授
うらの くにご 浦野 邦子	コマツ 顧問
おかもと ともたか 岡本 知高	ソプラニスタ [宿毛市出身]
かじわら だいき 梶原 大樹	元 豊ノ島関 井筒親方 [宿毛市出身]
くちもと しゅうさく 口元 周策	一般社団法人 ジャパンタッチ協会 理事長
ごとう ゆみ こ 後藤 由美子	元 早稲田大学 総長室校友連携担当部長
さとう ひろゆき 佐藤 宏之	早稲田大学 総長室常勤参与
しおざわ かずひこ 塩澤 一彦	コマツ コンプライアンス室 室長
しばおか みち お 柴岡 三千夫	学校法人 タイケン学園 理事長
すがい とくお 菅井 徳雄	元 東北学院大学 硬式野球部 監督
すがわら えいき 菅原 英基	株式会社ニュージェネレーション カンパニー
たかはし よしさだ 高橋 良定	元 コマツ 副社長執行役員、CIO兼情報戦略本部長
たけのうち ゆう 竹之内 悠	立命館大学体育会自転車競技部 監督
たまき よしとも 玉木 良知	日本貨物鉄道 取締役兼執行役員 (経営統括本部長)
とがわ たかし 外川 隆	元 早稲田大学 総務部総務課長
ところたに よしたけ 所谷 尚武	株式会社防衛ホーム新聞社 会長
ともがね たかお 友金 孝夫	早稲田大学 学生部スポーツ振興担当課長
なかにし きよおき 中西 清起	元 阪神タイガース投手・コーチ [宿毛市出身]
にし まさつぐ 西 正次	小松商工会議所 会頭
にしだ まさみち 西田 正紀	青木あすなる建設株式会社 顧問
はぎわら ともこ 萩原 智子	元 水泳オリンピック日本代表
ふじた しげる 藤田 茂	コマツ 総務部長
ふるや のぶあき 古谷 誠章	早稲田大学理工学術院 教授
まえだ しんじ 前田 伸二	コマツ 執行役員情報戦略本部長
まつだ ちひろ 松田 千裕	元 東洋フレイム株式会社
むらた ゆうぞう 村田 祐造	スマイルワークス株式会社 代表取締役
むろと しんご 室戸 眞吾	コマツみどり会 会長 (株式会社室戸鉄工所 代表取締役社長)
やまもと いちりき 山本 一力	直木賞作家 [高知市出身]
ゆら かずひさ 由良 和久	元 日本クルーズ客船株式会社 ぱしふいっくびいなす船長
よこもと みつこ 横本 美津子	コマツ 常務執行役員サステナビリティ推進本部長
わたなべ あきとし 渡辺 晃利	コマツカスタマーサポート株式会社 総務部長

自然
地図

人口

産業
構造

農
林
業

水
産
業

事
業
所

教
育

福
祉

保
健

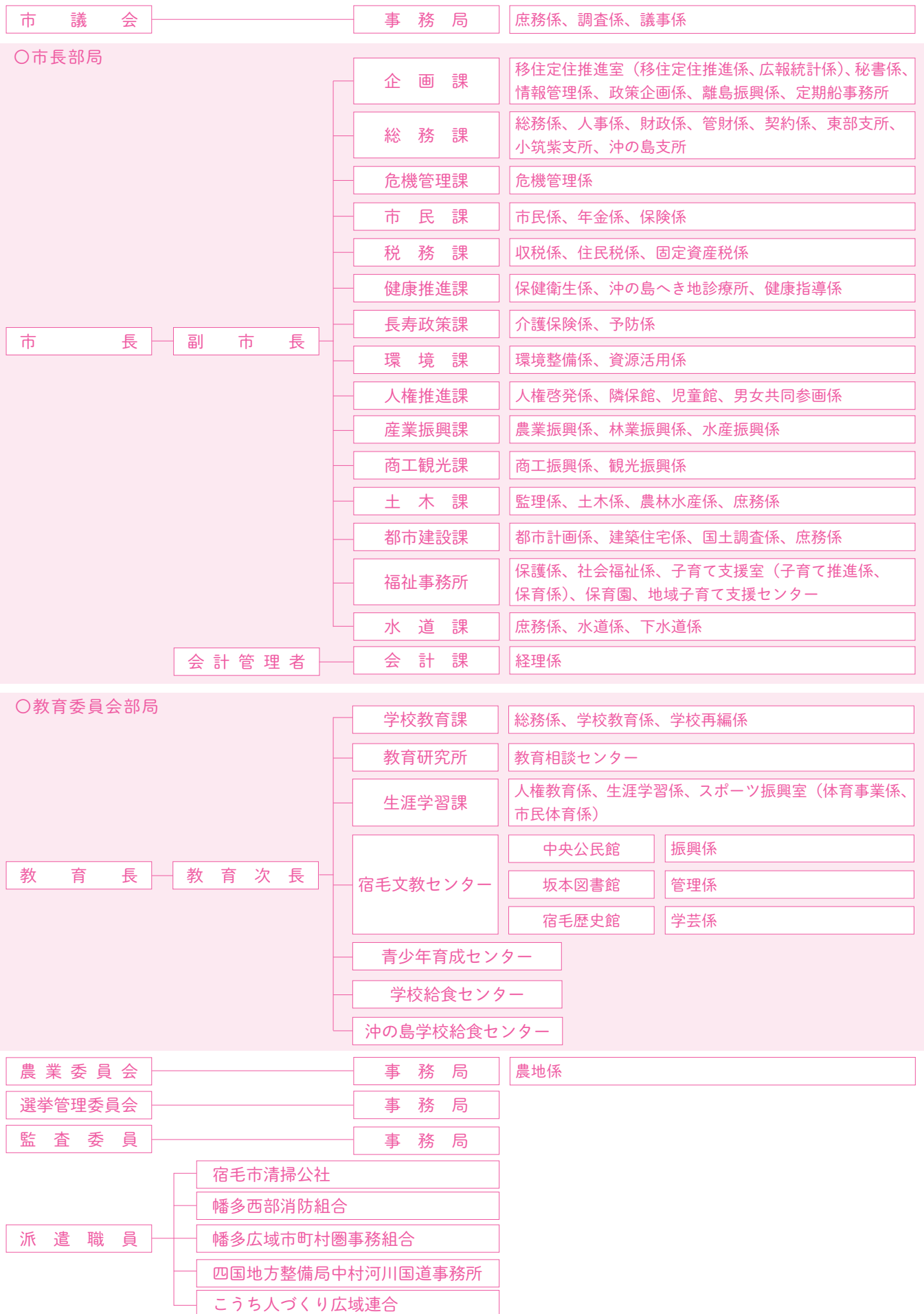
財
政

宿
毛
大
使

議
会

行
政

行
政
機
構





宿毛市 PR 動画「なるほど SUKUMO」
(Youtube)



宿毛市ホームページ
<https://www.city.sukumo.kochi.jp/>

宿毛市市勢要覧



発行月：令和4年11月

発行：高知県宿毛市

〒788-8686 高知県宿毛市希望ヶ丘1番地
TEL 0880-62-1111

E-mail kikaku@city.sukumo.lg.jp

企画・構成 宿毛市企画課